

リハビリ通信

第16号
令和3年4月30日
リハビリ通信担当発行

1. 季節の行事（節分）

当院では患者さんに対して季節を感じることや意欲向上、作業を通した身体機能訓練などを目的として、季節の行事を行っています。

2月には節分ということで、いつも行っている風船バレーを豆まきのように鬼に向かって打つ形式で行いました。患者さんには鬼に向かって「鬼は外、福は内」と声を出してもらい風船を打ち返すように参加して頂きました。途中、鬼の顔が取れてしまうトラブル(?)がありました。皆さん「全集中」で活動して頂きました。

節分の豆まきには病気や災難を追い払う意味が込められています。皆様の福を祈ってよい一年にしていければと思います。



2. リハ科内研修

当科ではスタッフの研鑽を目的として、教育係を中心に勉強会などを定期的に行っています。

2月に、新人理学療法士の症例発表会を科内で行いました。入職して1年間の集大成として、今回のテーマは日常生活動作についての観点と他職種連携でした。治療方針や症状に合わせたリハビリテーションを提供するにあたり、医師や看護師、作業療法士・言語聴覚療法士、社会福祉士、家族などの他職種と連携している様子を発表していました。1年の成長を感じさせる内容で、また、先輩からも多くの意見を出してもらい、次につながる有意義なものになったと思います。



当科では、新人に対しての教育だけではなく、若手セラピストに向けた教育プランも行っています。当科でできる経験を多くしてもらい、次のステップでも通用していくセラピストを育成していけるよう今後も取り組んでいきたいと思っています。

なお、科内で行った研修に関してはスタッフの体調を確認したうえで十分に感染対策を行った上で実施しました。

3. リハビリテーション室からの風景

1月



積雪したテラス



雪で浮かび上がった地上絵

2月



二重（NiziU）の虹



作業療法室から見た富士山



雨上がりの日光連山

3月



高原山・羽黒山・那須連山



屋上から見た夕焼け



正面入り口近くの桜



男体山・女峰山

今年の冬は厳しい寒さになった日もありましたが、全体的には暖かい日が多く、よく晴れた冬になりました。一方、大気が不安定になり、突然の雷雨となることもありました。いろいろと異例の1年となりましたが、何とかリハビリテーション科としての活動を続けてきました。今後も活動の様子や変わりゆく景色などを掲載していきますので、引き続きよろしくお願ひいたします。